

ぎんれいだより

2024年春号



編集：公益社団法人銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

電話:03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可

(毎月6回5の日・0の日発行)

SSK銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより

No.19 2024年5月10日発行

定価50円

発行：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

2024(令和6)年度

活動にあたつて
会長 渡邊 操

平素より公益社団法人銀鈴会の活動、運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。本年度も发声教室の運営は皆様方のご尽力に支えられ、その中で新たな一步を踏み出すことができましたことを大変感謝しております。

年頭から石川県・能登半島で大規模な地震が起こりました。亡くなられた多くの方々にはご冥福をお祈りいたしますとともに、まだ避難生活を余儀なくされる被災者の皆さまには心よりお

イスラエルとパレスチナ紛争等々内外に暗いニュースばかりで心が重くなります。しかし、そうした中でも我々の活動は続けていかなければならぬ使命があると強く感じています。

各団体が发声教室の運営に苦心されている中、これからも会員の皆様や新しく声を失った方々のために、知恵と努力を結集し、より充実した支援を提供してまいります。お知恵やご助言がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。

今年、銀鈴会は70周年を迎える特別な年です。先輩方が築いてこられた礎は、脈々と続き、我われ後輩たちはその歴史と使命を受け継いでいく責務があります。これからもその

見舞い申し上げます。さらに羽田空港内での衝撃的な衝突事故と暗いニュースからスタートした本年、日本以外でもロシアウクライナ戦争他、

そして、私たちは会員の皆さまとその家族が支え合い、励まし合うコミュニケーションを築くことを重視します。新しい会員の受け入れ、情報の共有、交流の場の充実化など、コミュニケーションの強化を通じて、一層の結束を図つてまいります。

さらに、銀鈴会の存在をより多くの方々に知つていただくため、外部への広報活動を積極的に拡充します。これは昨年同様メディアへの露出、医科大学や看護師などの専門学校や医療機関との連携強化などが含まれます。また、オンライン訓練の定例化などを提供する他、ホームページなどを活用し、広く知られる存在となるべく努力してまいります。そのためにも賛助会員の拡充、拡大にも努めていく所存ですので、ますます

伝統と使命に忠実に、发声教室の成長と発展に努めてまいります。

の支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます

第10回スピーチ発表会

2023(令和5)年度

2023(令和5)年度の「第10回スピーチ発表会」が2024(令和6)年2月17日(土)13時より港区三田の東京都障害者福祉会館にて開催されました。

渡邊会長の挨拶の後、林宏一訓練士の司会で今回の出場者16名がクラス毎に日頃の練習成果を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

最後に顧問の吉原俊雄先生の講評をいただき、参加者一同とても勉強になりました。

●発表者（敬称略）

初心クラス…小笠原幸成、久保山陽二、村川俊郎、伊藤昌志、足立

奥嶋莊一郎、白田千明、中園建治、

鎌吾

初級クラス…白田千明、中園建治、

奥嶋莊一郎

中級クラス…福倉正和、坪井文雄

上級クラス…渋沢和行、石坂和也、

大久保則彦

ELクラス…井上修、大野博

シャントクラス…森田嘉彦

◆吉原先生の講評◆

初心クラスの人々は“あ、い、う、

第10回スピーチ発表会の後、休憩をはさんで引き続き、2023（令和5）年度最後の行事である「第43回家族座談会」が開催されました。

第43回家族座談会開催

2023（令和5）年度



え、お”から練習が始まるが、上級クラスのスピーチを聞くことで、練習すればこのレベルまで上達できるとの確信を持てたと思います。

練習方法では、普段言い慣れている言葉の繰り返しも良い。例えば“ありがとうございます”は10音であるが、言い慣れているので比較的言いやすいと思います。

スピーチ発表を通じて感じたことは、ゆっくり、落ち着いて、緊張せず話すことが重要です。

E Lスピーチ発表者からは、電話でも十分相手に伝えることができたことであり有効な发声法だと思います。（詳細は銀鈴第71号掲載）



座談会です。

発声、生活に関する質問には訓練士が、医学的な質問には銀鈴会常任顧問・東京医科大学医療保健学部教授・東京医科大学客員教授の吉原俊雄先生が回答されました。

質問と回答内容の詳細については「銀鈴第71号」および「銀鈴会ホームページ」で順次紹介致します。

指導からのスタートでした。現地対面指導開始までにオンライン訓練は23回、参加者は日によつて異なりますが、計8名に訓練指導を行いました。



コロナ感染も収まつた同年12月

11日から5日間対面指導でベトナムに訪問（訪越、以下同）いたしました。訪越によりオンライン訓練の成果の有無が確認できますが、結果的にはその有効性を感じることができました。対面指導終了時には2名が中級レベルの発声力があると認められました。

この2年間の対面指導は計6回実施し、その間オンラインも並行して進めた結果、病院スタッフも指導方法を十分に学んだことにより、2024（令和6）年1月訪越時に喉摘者3名、病院スタッフ5名の計8名に訓練士の認定証を授与し

2022
(令和4)

ました。

3月の訪越時には、認定された訓練士に発声指導員として加わっていました。結果としてプロジェクト終了後も訓練士の役割を担つていただけだと判断しました。

プロジェクト目標の「発声訓練体制の確立」については、①発声教室運営規程、②食道発声マニュアル、③食道発声訓練マニュアルを成果物として提出しましたので、この目標は達成しました。

銀鈴会は今後とも支援を求められれば積極的に協力して行く予定です。

銀鈴会の広報活動の紹介

●「声」は取り戻せる（読売新聞12月10日号東京23区版）

●JICA草の根技術協力事業の銀鈴会活動



第10回スピーチ発表会の後、休憩をはさんで引き続き、2023（令和5）年度最後の行事である「第43回家族座談会」が開催されました。

第43回家族座談会開催

2023（令和5）年度



え、お”から練習が始まるが、上級クラスのスピーチを聞くことで、練習すればこのレベルまで上達できるとの確信を持てたと思います。

練習方法では、普段言い慣れている言葉の繰り返しも良い。例えば“ありがとうございます”は10音であるが、言い慣れているので比較的言いやすいと思います。

スピーチ発表を通じて感じたことは、ゆっくり、落ち着いて、緊張せず話すことが重要です。

E Lスピーチ発表者からは、電話でも十分相手に伝えることができたことであり有効な发声法だと思います。（詳細は銀鈴第71号掲載）



座談会です。

発声、生活に関する質問には訓練士が、医学的な質問には銀鈴会常任顧問・東京医科大学医療保健学部教授・東京医科大学客員教授の吉原俊雄先生が回答されました。

質問と回答内容の詳細については「銀鈴第71号」および「銀鈴会ホームページ」で順次紹介致します。

指導からのスタートでした。現地対面指導開始までにオンライン訓練は23回、参加者は日によつて異なりますが、計8名に訓練指導を行いました。



コロナ感染も収まつた同年12月

11日から5日間対面指導でベトナムに訪問（訪越、以下同）いたしました。訪越によりオンライン訓練の成果の有無が確認できますが、結果的にはその有効性を感じることができました。対面指導終了時には2名が中級レベルの発声力があると認められました。

この2年間の対面指導は計6回実施し、その間オンラインも並行して進めた結果、病院スタッフも指導方法を十分に学んだことにより、2024（令和6）年1月訪越時に喉摘者3名、病院スタッフ5名の計8名に訓練士の認定証を授与し

第10回スピーチ発表会の後、休憩をはさんで引き続き、2023（令和5）年度最後の行事である「第43回家族座談会」が開催されました。

第43回家族座談会開催

2023（令和5）年度



え、お”から練習が始まるが、上級クラスのスピーチを聞くことで、練習すればこのレベルまで上達できるとの確信を持てたと思います。

練習方法では、普段言い慣れている言葉の繰り返しも良い。例えば“ありがとうございます”は10音であるが、言い慣れているので比較的言いやすいと思います。

スピーチ発表を通じて感じたことは、ゆっくり、落ち着いて、緊張せず話すことが重要です。

E Lスピーチ発表者からは、電話でも十分相手に伝えることができたことであり有効な发声法だと思います。（詳細は銀鈴第71号掲載）



座談会です。

発声、生活に関する質問には訓練士が、医学的な質問には銀鈴会常任顧問・東京医科大学医療保健学部教授・東京医科大学客員教授の吉原俊雄先生が回答されました。

質問と回答内容の詳細については「銀鈴第71号」および「銀鈴会ホームページ」で順次紹介致します。

指導からのスタートでした。現地対面指導開始までにオンライン訓練は23回、参加者は日によつて異なりますが、計8名に訓練指導を行いました。



コロナ感染も収まつた同年12月

11日から5日間対面指導でベトナムに訪問（訪越、以下同）いたしました。訪越によりオンライン訓練の成果の有無が確認できますが、結果的にはその有効性を感じることができました。対面指導終了時には2名が中級レベルの発声力があると認められました。

この2年間の対面指導は計6回実施し、その間オンラインも並行して進めた結果、病院スタッフも指導方法を十分に学んだことにより、2024（令和6）年1月訪越時に喉摘者3名、病院スタッフ5名の計8名に訓練士の認定証を授与し

ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました 2024（令和6）年3月末日現在（五十音順 敬称略）

アスロード物流株式会社、アスロードウイング株式会社、コロプラス株式会社、株式会社オカムラ、公益財団法人社会貢献支援財団、三協立山株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、株式会社大和証券グループ本社、株式会社電制コムテック、東京ガレーチ株式会社、原田産業株式会社、株式会社明電舎、株式会社名優、山崎製パン株式会社、ロジホールジャパン株式会社、YKK AP株式会社

相澤善也、青山弘、縣信元、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、足立照美 荒川敬子、荒松允之、安西竹蔵、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、石塚康夫、石坂和也、石田研吾、市田治弥、井手麻喜子、伊藤謙治、伊藤智生、井上裕子、井上貴之、入谷文雄、岩崎堅司、岩崎伸、岩崎孝義、岩田泰夫、植原政子、上檣政隆、宇治原洋、江口仁、榎本節子、榎本まさ子、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、王美林、太田時夫、大田政彦、大田泰史、大田可奈恵、大貫美智子、大橋敏男、大場知恵子、大場実、岡崎信彦、岡田悠紀子、岡戸富美子、岡澤秀郎、小笠原幸成、小川文啓、荻原勇夫、奥澤長子、奥嶋莊一郎、奥原修、小澤哲、尾野有代、恩木高、笠貫正光、笠貫達也、梶山奈穂、片山浩晶、片山雅美、加藤滋紀、加藤英美子、金子幸生、金子豊巳、鎌形光仁、鴨下和加子、川井栄助、川谷内俊哉、岸健作、キタノカズキ、城所忠男、喜内敏夫、清田次郎、木村建、沓澤昭雄、沓掛昭雄、工藤剛武、久保田博久、久保力男、久保木昭次、久保田親尊、栗原弘、小泉欽二、小出幸枝、小暮英明、小谷昌司、後藤清、小林あや子、高麗太造、近藤秀樹、権平清、今野真機子、斎藤恵子、斎藤秀、斎藤久江、斎藤博、斎藤弘道、斎藤陽一、斎藤隆治、酒井弘子、酒井文夫、坂上昌平、櫻井正身、佐々木昭夫、佐藤和雄、佐藤久美子、佐藤圭吾、佐藤隆史、佐藤英光、佐藤直衛、佐藤泰雄、佐野雅次、佐野幸孝、澤田祐爾、山後弘子、山後祐介、山藤誠、鹿内健悦、重松康男、宍倉信子、宍倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠原淑浩、篠美登里、篠田乃武子、柴田清、渋沢小由美、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、七五三和夫、下里岩二、正願地孝子、白井芳郎、白川充彦、白田千明、新堀政由、十藏寺香織、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木光子、鈴木敏彦、砂長治、相馬麻衣子、高田耕吉、高野紘造、高橋孝壽、高橋剛、高橋敏夫、高橋もと子、高原明美、滝沢勇、武内進、竹内康子、武田達幸、武田祐爾、建部祐子、田辺則明、田本土郎、坪井文雄、つんく♂、丁睿朗、寺尾徹、寺澤永祥、柄木謙治、柄木英美子、中島豊、中園健治、中駄義光、永田周一郎、永田洋、中台庄次、中西正夫、中村隆行、中村忠孝、中山義信、並木新二、西村恵三郎、新田清剛、芳賀宏文、萩聖二、萩原勇夫、蓮見実、長谷川正一、長谷川良克、畠睦雄、馬場茂、濱野実、林宏一、速水康晋、半田建二、半野田重俊、引間善二、久田智章、檜森聖三、平澤玉吉、平野功 平林育宏、廣田冬樹、廣田美智瑠、福倉正和、福田敦子、福山幸伸、船越建治、古部貞雄、竇崎和人、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、前田和夫、牧野清、正木東彦、増田惣一、増田正毅、舛谷均、松枝清二、松清平、松島兼行、松嶋宏、松田行雄、松田幸雄、松本淳一、松本博、松山光志、松山雅則、松山雅哉、水島雅晴、三浦和子、三上洋二、三田村一雄、南定秀、南澤満之、宮本貢、村上憲聖、村川俊郎、村田正男、村本高史、持田貫宣、望月英二、百瀬秀夫、森本孟子、八木又一郎、矢代三江、矢島藤人、安野智、谷田部元吉、築昭子、屋中一夫、山岡弘尚、山岡義雄、山岸正央、山口明、山口平男、山崎岩男、山下清男美、山田三津恵、山田善宣、山寺勉、山藤誠、山本勇、山本一雄、山本和紀、山本夷正、横井俊三、横沢孝二 與座英夫、吉田久乃、吉原東洋輝、脇坂佳二、脇田誠照、和田敦子、和田重章、和田義文、渡辺恵一、渡邊幸一、渡辺俊一、渡邊鐵雄、渡邊操、渡邊みゆき、訓練士親睦会、上級クラス一同、シャントクラス一同、F. H、F. K、H. M、K. A、N. M、N. T、O. Y、S. M、T. K、Y. N、Y. Y、Y. S.Y、S. M、T. K、Y. N、Y. Y、Y. S